

会議録

会議の名称	令和5年度清須市防災会議
開催日時	令和6年1月24日（水）午前10時～午前11時40分
開催場所	清須市役所 南館3階 大会議室
議題	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 審議事項 清須市地域防災計画の修正について</p> <p>(2) 報告事項 令和5年度の防災事業の実績（見込）等について</p> <p>4 講話 「2024年能登半島地震について」 山岡耕春 教授</p> <p>5 閉会</p>
会議資料	会議次第、委員名簿、配席図、資料1、資料2、資料3、五条川防災センターについて、講話資料
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数	1人
出席委員	永田会長、山岡（耕）専門委員、 山岡（浩）委員、榊原委員、廣瀬委員、栗木委員、天竺委員、 齋藤委員、森川委員、葛谷委員、渡邊委員、早川委員、水田委員、 後藤委員、時田委員、笠原委員、河合委員、法月委員、横井委員、 澤井委員、本多委員
欠席委員	大嶋委員、牧委員
出席者（市）	丹羽危機管理部長、長谷川建設部長
事務局	（危機管理部危機管理課） 舟橋課長、炭竈課長補佐、山内係長、長谷川防災専門官

1 開会

(舟橋危機管理課長)

定刻となりましたので、ただいまから、「令和5年度清須市防災会議」を開会いたします。私は、本日司会を務めさせていただきます、危機管理課長の舟橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、開会に先立ちまして、委員の出席状況についてご報告させていただきます。

本日、牧委員、大嶋委員から欠席の報告をいただき、また、教育長の天埜委員は、本会議と同時刻に開催されております放課後子ども教室運営委員会での挨拶終了後に本会議へ出席いただく事となっております。よって、委員の過半数以上の方が出席されており、清須市防災会議条例第5条第2項の規定によりまして、本会議が成立していることをご報告いたします。

なお、この会議は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条の規定により、公開会議となっておりますのでよろしくお願いいたします。傍聴人各位におかれましては、同要綱第6条第4項の規定により、お手元に配布しました遵守事項に従っていただきますようお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、清須市防災会議会長であります、永田市長からご挨拶申し上げます。

2 あいさつ

(永田会長)

皆さんおはようございます。今日はあいにくの雪ということでございまして、委員の皆様には足元の悪い中、令和5年度の清須市防災会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。日頃から委員の皆様方には防災行政のみならず、市政全般に渡りご協力をいただいております。改めまして御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて2024年でございますけども、大変な幕開けとなってしまいました。能登半島を中心に、震度7という大変大きな地震が起きてしまいました。この辺りは震度4でございました。私の経験では市政施行後初めて震度4ということで、市におきましても自動的に災害対策本部を立ち上げるということになっておりますので、私もすぐに市役所に出向きまして、西春日井広域消防や西枇杷島警察などと連絡をとりながらこの地震による被害はない事を確認し、ちょっと安心をしたところでございます。

ただ、被災地は大変な状況になっており、現時点で230名以上の方がお亡くなりになられています。孤立集落については解消されたというお話を聞いたところでございますが、まだまだ厳しい状況が続いていると思います。

被災地への支援につきましては、市役所から1月21日から28日の8日間ですが、石川県の志賀町という所に税務課の職員を1名派遣しており、現地で被害家屋の認定調査に係る作業を行っております。

また、市役所では義援金も受け付けております。

西春日井広域消防本部につきましては「緊急消防援助隊愛知県大隊」の第1回から第6回として出動をしております、石川県の輪島市における火災対応及び被災者の安否確認調査、県内他地区の消防隊員の交代人員を現地まで移送する業務をいたしておるところでございます。

最近ニュースでも放送がございましたが、被災地の入院患者の搬送について自衛隊の航空機で名古屋空港まで運ばれた患者さんを、愛知県の医療機関へ搬送する業務も行っているところでございます。まだまだ復興には時間がかかりそうではありますが、これからも国や県からの情報提供や協力依頼に基づきまして、しっかりと支援に協力をしてまいりたいと考えております。

災害や事故のリスクについては最小化しなければなりません、なかなかゼロにすることは難しい事でございます。近い将来、南海トラフ地震が危惧されてはおりますが、これまでに起こった災害などからの教訓をもとに備えをしていくことが大切だと思っております。

本市といたしましても、災害の備えとして「治水対策事業」はもちろんですが、その他にも「公共施設の耐震化」それから本日説明をさせていただきます「防災センター整備事業」などのハード事業に加えまして、市民の皆様の防災意識を高めるために地域の防災訓練や地域防災リーダー養成講座、自主防災組織への補助などのソフト事業や、地域防災の中核を担う消防団の活動などを通じまして、地域防災力の向上に向けた取り組みを進めていきたいと考えております。

本日の防災会議におきましては「清須市地域防災計画の修正」や「令和5年度の防災事業の実績等の報告」に加え、大変お忙しい中名古屋大学院教授の山岡先生にもご出席をいただいておりますので、のちほどご講演をいただくことになっております。よろしくようお願い申し上げます。

少し防災とは違うお話になりますが、清須市は来年令和7年をもちまして市政20周年を迎えることとなりました。事業としましては来年度の事業ということでございますが、昨年度から事業に係るロゴの作成の準備をしております、昨日発表することができました。ロゴは清須市ゆかりの漫画家であります鳥山明先生に作成していただけたことになりました。本日の新聞にも載っておりますけれども、この事業を市民の皆様と一緒にやっていきたいと思っておりますので、委員の皆様方にもご協力やご指導を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、安全安心な街づくりに向けて今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 資料確認等

(舟橋危機管理課長)

ありがとうございました。市長の挨拶にもございましたが、本日は専門委員の名古屋大学大学院教授の山岡先生にご出席いただいております。のちほど「2024年能登半島地震について」講話をいただく予定となっております。山岡先生よろしく願いいたします。

続きまして、議事に入る前に本日ご持参いただきました資料等のご確認をお願いしたいと思います。まずA4サイズの次第がございます。続きまして委員名簿ですがこちらもA4サイズの両面刷りとなっております。続きましてA4サイズの配席図でございます。続きましてA3サイズの資料1「清須市地域防災計画の修正について」、また、A4サイズの資料2は地域防災計画の「新旧対照表」となっております。続きましてA3サイズの資料3は「令和5年度の防災事業の実績見込み」でございます。続きまして、A4サイズとA3サイズの2枚の資料となっております「五条川防災センター」の資料となります。最後ご講演いただく山岡先生の資料でございます。不足等があれば教えてください。よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

それでは、これより議事に入りたいと思いますが、この会議の進行は、規定により会長である永田市長が務めることとなっておりますのでお願いをいたします。

4 (1) 審議事項 清須市地域防災計画の修正について

(永田会長)

それでは、会議の進行を務めさせていただきます。

ただ今から、議事に入ります。はじめに、審議事項であります「清須市地域防災計画の修正について」、事務局から説明をお願いします。

(炭竈危機管理課長補佐)

危機管理課の炭竈です。それでは私から議事(1)「清須市地域防災計画の修正について」ご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、着座にてご説明いたします。・・・・・・・・

【資料1 清須市地域防災計画の修正について及び資料2 地域防災計画新旧対照表について説明。】

(永田会長)

ただいま、清須市地域防災計画の修正について説明が終わりました。今回の改正は主に法律の改正や、愛知県防災計画の修正に伴った修正が主なものとなりますが、ただいまの事務局からの説明について何かご意見、ご質問はございますか。

(挙手なし)

よろしいでしょうか。

それでは特にご質問等ございませんので、審議事項であります「清須市地域防災計画の修正」については、原案の通り承認することにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

ありがとうございました。

ご異議ございませんので、原案の通り承認することに決定をいたしました。

5 (2) 報告事項 令和5年度の防災事業の実績（見込）等について
報告事項 五条川防災センターについて

(永田会長)

次に、報告事項でございますが「令和5年度の防災事業の実績（見込）等について」及び「五条川防災センターについて」事務局から報告をお願いします。

(山内危機管理課係長)

危機管理課の山内です。それでは私から議事(2)「令和5年度の防災事業の実績見込等について」ご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、着座にてご説明いたします。・・・・・・・・

【資料3 令和5年度の防災事業の実績（見込）等について説明。】

(舟橋危機管理課長)

引き続き、私から「五条川防災センターについて」ご説明させていただきます。

【五条川防災センターについて説明。】

(永田会長)

令和5年度の防災事業の実績及び本年度の計画と、五条川防災センターについてご説明させていただきました。少し補足させていただきたいのですが、先日能登半島において大きな地震が発生し、水と避難所の暖房の事が問題となっております。本市ではちょうど1年前になりますけども、12校の全ての小中学校の体育館にエアコンを整備することができました。このエアコンの熱源はLPガスにしてあり、停電になった場合でも使えるというようにしてあります。また、設計では、ガスの補充をしなくても3日間は連続して使用ができる事となっております。さらにはガスホースを接続して炊きだしにも活用できるという利点もございます。

それからもう1点は、五条川防災センターの建設についてですが、先ほど課長から説明がございましたけれども、五条川の右岸側にはこういった施設がありませんの

で、リスク分散という点からも考えてみますと、清須市を流れる3つの川、庄内川、新川、五条川の近くに必要であると考えます。庄内川と新川の間には庄内川水防センターと新川ふれあい防災センターがあり、新川と五条川の間には西田中防災倉庫があります。しかし五条川の右岸側にはそのような施設がありません。堤防が決壊し、そのような施設の資機材が全て使用不能となることも考えられますので、これは絶対に五条川の右岸側にも防災施設が必要であると思っておりました。また、現在建設している同じ敷地内に避難所機能を有した清洲保健センターがございますが、そちらの保健センターは現在統廃合を検討しておりますので、新しい防災センターは避難所としても活用していく予定をしておりますので、皆様にはご理解いただきたいと思います。

それでは令和5年度の防災事業の実績、それから令和6年度実施計画、五条川防災センターの件につきまして何かご意見、ご質問はございませんか。

(質問なし)

ご質問等もないようですので、報告事項であります「令和5年度の防災事業の実績(見込)等について」並びに「五条川防災センターについて」は、報告を終わります。

以上で本会議の議事については全て終了しました。委員の皆様におかれましては、慎重審議をいただき、ありがとうございました。

それでは進行を事務局にお返しします。

6 講話

(舟橋危機管理課長)

議事についてご審議をいただきありがとうございました。

それでは続きまして、講話に入りたいと思います。

準備を行いますのでしばらくお待ちください。

(準備完了後)

それでは、先ほどもご紹介させていただきましたが、専門委員としてご出席いただいております、名古屋大学大学院 環境学研究科 地震火山研究センター 教授の山岡先生より、「2024年能登半島地震について」講話をいただきます。

それでは、山岡先生よろしくお願いいたします。

(山岡専門委員)

名古屋大学の山岡です。それでは・・・・・・・・

【講話資料 2024年能登半島地震についての講話】

ありがとうございました。山岡先生には大変お忙しい中ご出席いただき、「2024年能登半島地震について」お話をさせていただきました。

せっかくの機会でございますので、本日お話しいただきました内容について、またそれ以外のことも構いませんので、ご質問等がございましたら、よろしくお願い致します。

渡邊委員どうぞ

(渡邊委員)

山岡先生少しお尋ねします。素人考えで大変恐縮ですが、土地が隆起する事についてお話がありましたが、土地が隆起するという事は、地中に空洞ができたりするものなのでしょうか。

(山岡専門委員)

そうではありません。隆起した場所があるという事は、どこか沈んだところも必ずあってそれでバランスがとれているはずです。実はこれ陸上しか見えないのでわかりづらいかもしれませんが、海の方は沈んだ場所がありますので、先ほど逆断層のお話をしましたけれど、隆起した部分に対して沈降する部分も発生するという事で、全体でバランスを取っています。よって空洞というものはできません。そもそも地球全体で言わないと現実なことは言えないのですが、概ね隆起した場所と沈降した場所がイコールと考えていただければと思います。先ほど説明の中で少し図をお見せしたと思いますが上下変動で言いますと、図の能登半島の先端をご覧いただき北側の部分が隆起していますが、南側の部分は沈降しています。あとはこの図では見えませんが、海の底も沈んでいるということで、大体それでプラスマイナスゼロとなっているのではないかという風に思います。補足ですが、地中に空洞ができないのは、基本は周りの土地が隆起した地中に押し寄せてくるので空洞ができることはないと思っていただければいいです。

(舟橋危機管理課長)

ありがとうございました。

他に質問はございますでしょうか。

法月委員お願いします。

(法月委員)

清須市災害ボランティアコーディネーター協議会で活動しております法月と申します。よろしくお願いいたします。今日はとても詳しくそして優しく先生からご講義いただきありがとうございました。私からは質問ではありませんが、日本では地震の研究がかなり進んでおり、高い確率で予見していく事ができるので、私達は事前にしっか

りと準備していく事が可能だと思います。そのような中私達の役割は、このような災害に対してあまり危機感を持っていない方に対して、よりたくさんの人を巻き込んで減災のための準備をしてもらうようにするかだと思います。本日は貴重なお話ありがとうございました。

(山岡専門委員)

どうもありがとうございました。まだ現地に行かれてないと思いますが、ぜひ現地に行って肌で感じてもらえれば、こちらに戻ってからの防災活動に役に立つと思います。

(法月委員)

長野県の災害時には、現地に行きいろいろ見てきました。皆さん仕事に行ったり生活はしていたのですが、学校の避難所で生活している人と、集会所で避難生活している人の気持ちの違いがよくわかったので、やはりきちんと準備をして災害に備える事は大事だと改めて感じました。災害関連死についても今いろいろと盛り上がっておりますので、しっかり頑張っていきたいと思います。

(舟橋危機管理課長)

ありがとうございました。
他に質問はございますでしょうか。

(永田会長)

本日はどうもありがとうございました。私から少し質問させてください。
地震は防ぐことができませんのでどうしようもない事はわかりますが、建物については耐震化の促進、津波については、この地域は津波の心配があまりないということもあり、川を遡って堤防を破壊するという危険性はあるものの、そこまでの対策を講じる必要はないのではと思っております。過去にもいろいろな専門の方に液状化対策についてお聞きしましたが、対策はほぼできないという返答が多く、どれだけお金をかけ、土などを入れ替えても本当に効果があるかどうかわからないと言われました。南海トラフ地震も懸念されておりますので、液状化対策について、何か有効な対策というものがあれば、少し教えていただきたいなと思ってご質問しました。

(山岡専門委員)

いろいろ研究がされているみたいですが、いずれにしろコストがかかるってということで、おそらく最大のネックはお金がかかるという問題だと私は理解しております。液状化のメカニズムについてはかなりよくわかってるようですが、割と均質な砂の地

盤で、地下水が豊富にある場所で地震が発生した場合、左右の振動に対して液状化が発生する事になります。特に短時間ではなく長時間の揺れが続くほど、液状化を起しやすくなるため、液状化が懸念される場所についてはある程度特定ができると思います。液状化対策をする場合には、例えば、新たに埋め立てをするような場所については、埋め立てをする砂や土の成分を考慮することで、液状化をしない地盤を作ることは可能であると思います。それは東京湾も名古屋港も新たに埋め立てをするようなところは液状化対策がされていますが、内陸部など、もうすでに町が存在している場所を液状化対策することとなれば、詳細な事はあまりわかりませんが、それなりにお金がかかるものであると認識しております。また、自分の家を建築するときには液状化対策を行うかどうかについては、建築前に実施しておく方が建築後に実施するよりもお金がかからない事は確かです。あと液状化が発生した場合、何が一番大変なのかと言うと、生活が困難になるのが一番大変だと聞きました。例えば今回、五条川防災センターを建築する際に、基礎はしっかりされていると思いますので、建物自体が液状化で被害を受けることはないと思いますが、接続する上下水道管が破損することは十分に考えられます。破損した上下水道管を復旧させる事に非常に時間がかかるということが液状化の最大の問題だと考えます。とにかく液状化が起こることによって、人の命が失われることはほとんどありませんが、液状化が起こると生活が非常に困難になり、復旧までに時間がかかります。事前に対策をとる事は可能ですが、それなりのコストがかかることだというふうに理解しております。

(舟橋危機管理課長)

ありがとうございました。

他に質問はございますでしょうか。

ご質問等もないようですので、山岡先生の講話を終了させていただきます。山岡先生ありがとうございました。

7 閉会

(舟橋危機管理課長)

委員の皆様、本日は長時間にわたりありがとうございました。今後も市の防災行政にご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、これをもちまして、令和5年度清須市防災会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。

問い合わせ先	危機管理部 危機管理課 電話 052-400-2911 (内線3111)
--------	---